

## 第256回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 中西中学校 校長 森脇 達也  
参加者数 12名 教頭 都野森 信夫

<b>1、代表世話人挨拶 山崎純</b>
一年ぶりにこちらの中西中学校の掃除です。懐かしい方も
ご参加されており、又校長先生、教頭先生もご参加頂き
ありがとうございます。いつも同じことを話しますが、明日
子供さん達がきれいなトイレを見て、また使って気持ちがが
いいなーと感じて頂けるように今日も綺麗に掃除を
したいと思いますのでよろしく願います
<b>2、体験感想発表</b>
<b>・佐々木 仁資さん(萩市)</b>
今日は女子トイレを担当しましたが、先般右手を骨折して
左手でやりましたが、今までは力ごなしにやりましたが
加減してやると汚れが落ちることに気付きました。また
便器の外に生が有ってどうすべきかを考えました
中部さんのリーダー振りに納得しました
<b>・都野森 信夫さん(中西中学校教頭)</b>
今日はありがとうございました。女子トイレを始めから
フルでさせて頂きました。最後にカネヨンの汚れをきちんと
拭いて綺麗にしたところが感銘を受けました
<b>・森脇 達也さん(中西中学校校長)</b>
今日初めて参加しました。男子トイレにチャレンジしましたが
面白いもので残った汚れをどうして取ろうかと夢中になり
ました。家では掃除は全然しませんが、やってみようと
思います。最後にカネヨンを綺麗にすることが、次使う方
の為にという思いは、掃除をすること以外でも学びです
<b>・森 宣雄さん(益田市・キューサイファーム島根)</b>
5年ぶりに参加です。再びこちらでお世話になりますので
社員にも声をかけて一緒に参加したいと思います

<b>2、体験感想発表</b>
<b>・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)</b>
今日は便器は掃除をしましたが、スリッパとかマットを綺麗に
しました。スリッパは掃除がし易くどの学校もあのスリッパに替えて
欲しい位です。マットも綺麗に洗いましたが明日まで乾いて欲しいですね
<b>・松崎 純次さん(益田市・キヌヤ)</b>
男子の大便秘器をしましたが、ポータブルが汚れていて、生がいっぱい
付いていてどこから手を付けようかと悩むくらいでした。夏、汗をかいて
掃除をすると本当に気持ちがいいと思います。
<b>・稲元 正敏さん(浜田市・しまや)</b>
久しぶりにゆっくり掃除をさせて頂きました。校長先生に申し上げますが
家のトイレ掃除も一度や二度では、とても家庭円満ということには
なりませんのでご忠告させて頂きます(笑)
<b>・中部 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)</b>
女子トイレの2番目のトイレを担当しました。汚れは軽い程度で、すぐに
綺麗になりましたが、どうもドアが完全に閉まらず使用してないのでは
と思います。またトイレトペーパーのホルダーも悪いようです
教頭先生確認して頂いて修理をお願いします
<b>・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)</b>
今日は尿漉しを担当しましたが、クエン酸効果で綺麗になりました
<b>・中島 明洋さん(中西中学校3年生)</b>
男子トイレの入り口の一番目をしました。初参加の時もそこを担当
しましたが、今日は初めての時とは全然楽で、嬉しいような、悲しい
様な感じです。皆がトイレの壁にトイレ洗剤をまき散らしたりしますので
今後は注意してきちんと掃除をするようにしたいと思います
<b>・岡崎より</b>
今日は校長先生、教頭先生ご参加、仁さん、森さん久しぶりで嬉しい限りです

<b>4、鍵山秀三郎相談役 一日一話より抜粋</b>
<b>掃除が挨拶を呼ぶ</b>
掃除をしていると挨拶をして下さるようになります。最初の頃は、こちらから声をかけても
知らんふりしておられた近所の人、自然に挨拶をされるようになりました。
たかが挨拶ですが、挨拶された方はこんなに嬉しいことはありません。
掃除には、かたくなになった人の心を、どんどんほぐしていく効用があるようです
<b>先祖のおかげ</b>
人間はつい、自分だけの努力で人生を送っているように思いがちですが、そんなことはありません。
ほとんどが両親、あるいはそのまた両親という先祖の徳の恩恵を受けて生かされているわけです
幸い、私が道を踏み外すことなく生きてこられたのも、私の両親が人に迷惑をかけずに
蟬(ひんしゆく)を買うことのない生き方をしたおかげだと思っております
<b>5、森信三先生の教え 一語千鈞より</b>
<b>只管あいさつ</b>
・「あいさつ」ひとつによって、家庭が変わり、学校が変わり、職場が変わり、地域が変わり、運命が変わる
・「朝の挨拶は人より先に」これを一生続けることは、人として最低の義務というべし
・なによりもまず「人間としての軌道」に乗って頂きたいのです。その第一は、毎朝、親に対して挨拶のできる
人間になる ということです。もしこれが出来ないとしたら、そういう人は、まだ本当に「人間としての軌道」に
乗っているとは言えないんです。
・人間としての軌道はの第二は、親御さんから呼ばれたら必ず「ハイ」と言う返事ができるということです
<人間としての軌道の第三は次回お楽しみに>
<b>6、平澤 興先生語録より</b>
<b>生きよう今日も喜んで &lt;255回の続きです&gt;</b>
・こうして、自分自身を見ると、いよいよ自分の不思議が分かり、したがってもの見方が以前と全く
違った新しい目が見えてくる。こうした目でものを見ると、今までは常識的に平凡に見えていたものが
珍しく新しい姿で現われてくる。自分との対話によって、新しい目と心を見出し、世の中の全てが常識的な
過去の見方ではなく、新しいものに変ってくるのである。つまり、見るもの聞くものが新しい姿でこの身に
迫り、宇宙の姿が変わってくるのだ